

# 久慈川・那珂川流域における減災対策協議会

## ●平成30年度第1回 久慈川・那珂川流域における減災対策協議会

・実施日：平成30年度5月30日（水）10：00～11：00

・場 所：常陸河川国道事務所2階 会議室

・出席者：国土交通省常陸河川国道事務所長、気象庁水戸地方気象台長（代理）、気象庁宇都宮地方気象台長（代理）、茨城県河川課長（代理）、茨城県防災・危機管理課長（代理）、栃木県河川課長（代理）、栃木県危機管理課長（代理）、茨城県水戸土木事務所長、茨城県常陸太田工事事務所長、茨城県常陸大宮土木事務所長、茨城県高萩工事事務所長、栃木県烏山土木事務所長（代理）、栃木県真岡土木事務所長（代理）、水戸市長、日立市長（代理）、常陸太田市長（代理）、ひたちなか市長（代理）、常陸大宮市市長（代理）、那珂市長、茨城町長（代理）、大洗町長（代理）、城里町長（代理）、東海村長（代理）、大田原市長（代理）、那須烏山市長（代理）、茂木町長（代理）、那珂川町長（代理）

## ●開催状況



## ●協議内容

（1）久慈川・那珂川流域における減災対策協議会規約改定について

（2）各構成機関における取組の進捗状況と対応について （3）平成30年の

取組及び構成機関取組事例の紹介について （4）出水時に活用するホットラ

インの名簿の更新について （5）今後のスケジュールについて （7）その他

情報提供 ・気象台からの情報提供

## ●協議結果

協議会規約の改定、平成30年度の取組項目及び今後のスケジュール等について意見は無く了承を得られた。各構成機関における取組の進捗状況については、表現の仕方を工夫する旨のご意見を頂いた。

●構成機関より当該取組の進捗状況や今後の進め方について参加首長より発言

- ・災害等の情報発信手段について数種類の方法により聞き逃しを避け住民の生命財産を守ることができると考えている。
- ・地元ラジオ局との連携締結をしている。各種のメール、SNS等情報発信をなど強化を行っている。
- ・台風対応に備え、平成28年に待ち独自のタイムラインを使って訓練を実施している。
- ・実際に台風対応を実施した結果、備蓄確認やパトロール等人員配置対応できた。
- ・今後国、県を交えたタイムラインを策定し、関係機関との連携を強化し災害に備えていきたい。
- ・堤防天端保護、裏法尻の補強等ハード対策の整備に感謝している。今後も計画的に進めてほしい。
- ・県管理河川の浸水想定区域見直しが予定されている。そのデータを活用し、ハザードマップの作成を進めていきたい。
- ・要配慮者利用施設について防災ラジオを今年4月より貸与している。
- ・浸水想定区域内の防災施設については移転、防災倉庫の配備を想定区域が拡大した地域より優先して整備していきたい。
- ・自主防災訓練をより実効性あるものにするため、その指導、助言を行う専門者を消防本部及び危機管理部局に配置を行った。
- ・防災訓練について6月実施に向け詳細を詰めている。
- ・広域避難計画について、原子力災害に備えた避難者受け入れの協議を常陸大宮市と行っている。